

会報 第100号

エゾリスの会は、1986年に発足した環境系まちづくり団体で、野生小動物と人間とがより良く共存できる環境づくりを目指し、現在帯広の森で「里山づくり」、「動植物調査」、「観察会の実施」などの活動を行っています。

☆「会報100号！感謝」

エゾリスの会会長 三日市則昭

エゾリスの会は、1986年（昭和61年）4月に「エゾリスをはじめとする小動物と人間が楽しく触れ合える環境づくりと自然教育の場づくりを目指し」思いを共有する理想に燃えた（？）面々で発足しました。

会の継続性を保つべく「会報」の発行を事業計画に盛り、第1号エゾリスの会報「エゾリス」を同年5月20日に出すことができました。

初代会長藤巻裕蔵氏の挨拶に始まり、藤巻会長が当時畜大の教授を務めていた関係から、強引に畜大生の伊藤育子さん（現里山プロジェクト責任者）を会報の編集者に抜擢（無理強いしました）して、女子学生の新鮮な感覚で発行することができました。

伊藤さんが横浜市に就職してからは、私等が編集を行っていましたが、年とともにマンネリ化に悩んでいたところに、伊藤さんが横浜市から帯広市へUターンして、編集に参加することになり、紙面も活性化され一安心。

その後、私が一人で編集する期間が訪れ、またも危機が到来！

一人悩む時期（？）が訪れましたが、2代目の堀之内会長から「続けることが大事だよ」との言葉受

けて発行を続けていきましたが、私自身の行いがよいことが幸いし、救世主が現れました。

坂村堅二さん。ICレコーダーを例会や活動日に持参しインタビューを行い紙面づくりに奮闘しています。98号から読みやすく、ビジュアル的な紙面に驚いたと思いますが、彼の努力の賜物です。

また、紙面に可愛いエゾリスのイラストや四コマ漫画が載っていますが、裏会員67号の江渡千恵さんが腕をふるっています。

このように、27年間欠かさず発行することができましたのも、その時々原稿の依頼に快く受けていただいた多くの会員の皆様の協力等手作り感覚で作成できたからと思っています。ほんとうに感謝申し上げます。

今後とも会報「エゾリス」の発行のご協力よろしくをお願いいたします。



☆全ページカラーです！ これを見ればエゾリスの会がだいたい分かる？かもしれない。

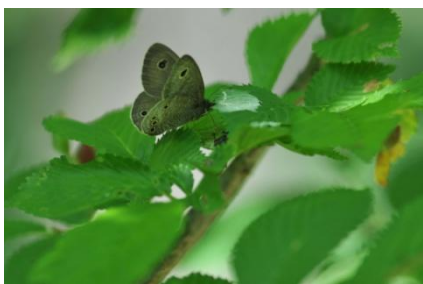
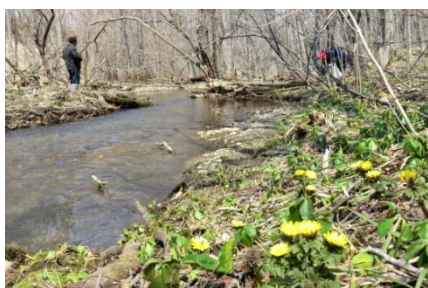


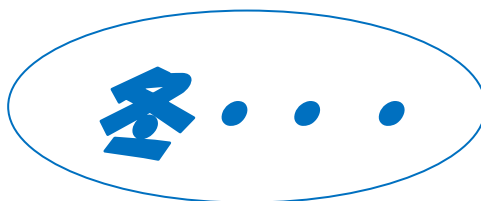
モニ1000 修行の道...何回辿ったことだろう。



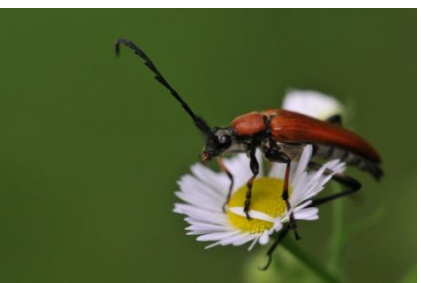
あの時私は若かった!!

写真集 エノリスの会の四季





エゾリスの会、写真集番外編



エゾリスの会のこれから、、、 会員、新春座談会で大いに抱負を語る。



間伐した樹をホダ木に菌を植え付けたい。
キノコをもっと取れるように。



カブトムシ、ウチダザリガニなど外来生物を除去しつつ楽しめることをしたい。

面白いことをやりたい。
カナヘビ探し。



1日かけて帯広市全域のエゾリス調査の実施。
冬の動物の足あとをひたすら追いつけてみたい。

リスやネズミとコミュニケーションが取れる笛のようなものをつくりたい。



帯広の森の水辺の底生動物調査をやりたい。



シニア世代の来やすい活動を

観察しやすく、(巣箱をかけても)生息影響に対して影響の少ない場所に巣箱をかけて、モニタリング調査をしたい。



トンボやカエルが来る湿地(池)ビオトープを作りたい。外来種オオアワダチソウの群落を減らしたい。



エゾリスの会を畜大に広めます。
短時間でも参加しやすい活動とその広報をやります。

子どもの来やすい活動やしぐみを。

エゾリス1頭をひたすら追いつける調査をしたい。

ちゃんとした写真展・講演会を開催したい。PRの場にしたい。



今、手入れしている部分を早く終わらせ、他の箇所も作業を始めたい。



みんな勝手バラバラだ。まとまりがないが、今年も楽しみながらもしっかりやりたいという意気込みは伝わった新年会でした。



プレイバック！写真で見るエゾリスの会の歴史

1980 年代



農高にて観察会（1986.8）



木のフェス（1986.9）



緑ヶ丘公園樹木調査（1988.1）

野生小動物と人との共存できるまちづくりをという目的からエゾリスの会が設立。この頃の活動場所は緑ヶ丘公園が主でした。十勝管内各所で観察会や調査を実施。初代会長は帯広畜産大学名誉教授の藤巻裕蔵さん。

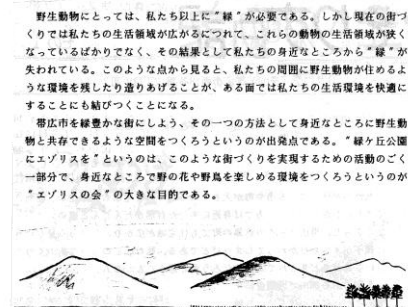


エゾリスの会の発足にあたって
藤巻裕蔵

私たちが住んでいる市や町が大きくなるにつれて生活も多様化し、便利になってきた。しかし、その一方で身近にあった自然がだんだんと遠のいていってしまった。帯広市とその近郊の町でも住宅地が広がり、しばらく見ないうちに緑がすっかりかわってしまうほどである。私は、このような街づくりを見ていて、ときどきこれではよいのだろうかと思うことがある。

本州のある都市での調査結果であるが、自分が住んでいる地域で緑地率が60%を割ると人々は周辺の緑豊かな所へでかけるようになり、30%近くになると泊がけででかける人が多くなるといふ。私たち人類も、ほかの動物と同じように非常に長い時間をかけていろいろな生物にとりかきながら進化してきたわけで、いくら文明が進んでこのような生活を捨てていくことはできない。無意識にうちに「緑」のある生活を求めるのも、私たちがこのような動物の一員だからであろう。都市の中で私たちが生活しやすくなるのは大変結構なことであるが、ただ便利さだけではなく、身近にもっといいの森となるものが必要だと思う。

会報第1号！



初代会長 藤巻裕蔵さん

1990 年代

90 年代に入ると次第に主な活動場所を帯広の森に移します。講演会開催、ログハウスの建設などがありました。1991 年より帯広市から「帯広の森内の小動物生息環境調査」を受託し、森と人間との関係を見つめ続けています。



グリーントーク「森との語らい」開催。ゲスト C.W.ニコル氏等（1991.6.）



写真集「エゾリスの四季」発行（1995.12.）



帯広の森に観察小屋（ログハウス）を建てる（1991.6）



帯広の森で植樹後記念撮影（1995.10）



夏の観察会（1998.8）



冬の観察会（1998.2）



間伐材で炭焼き（1999.10）

観察会はその後も季節を問わず続けられました。98年に「里山をつくろうプロジェクト」が始動し、帯広の森での活動は調査だけでなく、間伐や草刈、様々な森づくりに必要な手入れを行っていきます。それに伴い、お楽しみ♪も増えてきます。

2000 年代――

21 世紀になり、「全国雑木林会議」に会員が毎年参加するなど、里山づくりを学びながら、実践していく活動が増えていきます。地道な活動が評価され賞もいただきました。

2008 年からは日本自然保護協会から「モニタリングサイト 1000（里地調査）」を受託し、森の成長や動植物の生息状況の変化を 100 年間見つめていこうという無謀？ともいえる取り組みを始めました。



十勝環境特別賞受賞（2004.11）
右、故堀之内清志さん（2代会長）
左、三日市則昭（現会長）



第 29 回前田一歩園賞受賞
（2011.10）



エゾリスの会発足 25 周年記念事業
「阿部永先生、鮫島淳一郎先生と車座談義」
（2012.2）



モニ 1000 チョウ類調査



里山プロジェクトでの間伐作業

会の発足から 28 年、エゾリスの会は環境系まちづくり団体として、これからも自然環境や地域に生息する動植物に敬意を払いながら活動を続けていきます。



裏会長
どんな時でも、ボーカ
フェイス、全マが魅



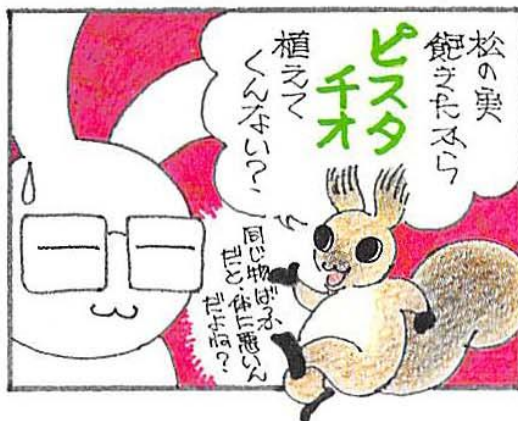
クマ田アレクセイ
古書店経営、テニスと
マラソンが趣味



エゾリス
帯広の森の真の支配
者、怒るとコワイ



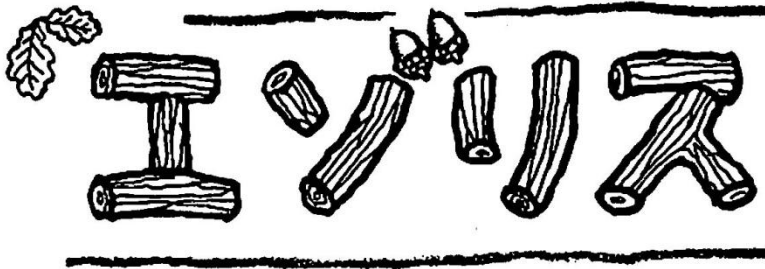
by 裏会員67号



エゾリスの会 会報 100 号 発行日: 2014. 2. 25
発行 エゾリスの会 (事務局)
〒080-0027 帯広市西 17 条南 3 丁目 6-14
☎0155-33-4223
E-mail mikka-1@octv.ne.jp
非公式ブログ <http://d.hatena.ne.jp/noken/>

編集後記

フルカラーの会報はいかがでしたでしょうか? エゾリスの会の歴史や未来、四季の活動や雰囲気が白黒の時よりもより伝われば良いなと思っています。何か感じるものがあつたならば、連絡ください。森と一緒に汗をかいたり、お茶したり、楽しみましょう! (さか)



会報第101号

エゾリスの会は、1986年に発足した環境系まちづくり団体で、野生小動物と人間とがより良く共存できる環境づくりを目指し、現在帯広の森で「里山づくり」、「動植物調査」、「観察会の実施」などの活動を行っています。

☆**6月21日(土)は夏至です。売買川で夏至を楽しもう？** 詳しくはチラシを見て！



夏を到来を告げるエゾゼンテイカ



ベニバナイチヤクソウ



ロケットストーブで夏至祭を祝おう！

※夏至の日の楽しみ（夏至祭って知っていますか？）

ご存知のとおり、夏至は一年で最も日の長くなる日です。北欧ヨーロッパでは夏至祭というものが開かれ、焚き火を焚き、花冠を作って踊ったり、ソーセージやジャガイモを食べたりするそうです。

エゾリスの会では今年、夏至の日に売買川で自然観察会を行い、夏至祭に習って、観察会のあと、焚き火ならぬロケットストーブで湯がいたソーセージでホットドッグを皆で食べたいと思います。ぜひ、夏至の日はエゾリスの会主催の自然観察会に来てください。

☆**どうなる？！どうする？！2014年度のエゾリスの会** 詳しくは2、3Pへ

エゾリスの会、2014年度の
事業計画と収支予算の報告だよ。
この会報が皆に届く頃、春の
エゾリス分布調査が始まります。
しっかり今年も探してね！



エゾリスの会 2014 年度事業計画です。

1. 自然と触れ合う事業

a) 自然観察会 2回開催

第1回「売買川を歩こう」 2014年6月21日(土) 売買川周辺

第2回「冬の観察会」 2015年 月 日(土) 未定

b) 動植物を考える他団体との連携

- ・地域生態系研究会との調査についての連携
- ・ログハウスの周辺整備
- ・共同観察会の開催



2. 調査事業

a) エゾリス生息マップの作成(帯広市内) 継続事業

シマリス情報の収集・道路横断の実態・緑ヶ丘公園の生息マップ作成

b) 帯広市委託調査(帯広の森の小動物の生息調査)

*エゾリス分布調査

調査月日: 春 5月25日(日) 6:30集合 5月31日(土) 6:30集合

秋 10月18日(土) 6:30集合 10月26日(日) 6:30集合

集合場所: 帯広の森・はぐくむ 駐車場

*チョウセンゴヨウ松の結実調査 帯広の森内(秋の調査時10月18日)

*エゾリスの冬の巣調査 11月16日(日) 7:00集合

場所: 帯広の森 昭和 年植樹区

c) 表土まきだし調査(帯広の森) 手入れ

3. (財)日本自然保護協会主催の「モニタリングサイト1000」事業

- ・帯広の森内で、鳥類調査、植物調査、チョウ類調査、哺乳類、カエル、人為的インパクト調査データを活用して、帯広の森管理プラン作成に利用する
- ・9月6日栗山町で行われる研修会参加(植物、自動撮影用デジカメ)

4. エゾリスの会広報事業

a) 会報の発行 4回発行 b) エゾリスの会リーフレット作成

5. 里山をつくろうプロジェクト

- ・2014年6月から月1回
- ・オオアワダチソウの根の除去の試み
- ・園路沿いの池の泥上げ

6. ホームページの作成

7. 創立30周年記念誌の発行(資料収集) 1986年(S61年4月)発足 *2016年発行



今年度も盛りだくさんだね。調査、里山づくりの作業、広報活動、その他諸々で忙しそう。

でも、これら全部を一人でやっているわけじゃない。いろいろな仲間がいて、得意なところ、出来るところを分担したり、出来る範囲でやっているんだ。

年度途中でも会員のアイディアで楽しい企画が生まれたりもするし。結構自由な会(?)だよ。

エゾリスの会の2014年度収支予算書です。

	13年度決算額	14年度予算額	増 減	備 考
収入の部	698,473	845,000	146,527	
支出の部	311,295	845,000	533,705	
次年度繰越金	387,178	0		

収入の部	13年度決算額	14年度予算額	増 減	備 考
科 目				
1 会費	33,000	37,000	4,000	会員数50名
個人会員	15,000	17,000	2,000	34名
家族会員	13,000	15,000	2,000	15名
賛助会員	5,000	5,000	0	1会員
2 受託料	99,960	300,000	200,040	帯広市
3 事業収入	0	5,000	5,000	観察会参加費
4 雑収入	2,000	5,672	3,672	謝礼、寄付金等
5 預金利息	147	150	3	
7 繰越金	438,366	387,178	△ 51,188	
8 繰入金	100,000	100,000	0	
9 補助金等	25,000	10,000	△ 15,000	
総 額	698,473	845,000	146,527	
* 預り金	3,000	0	△ 3,000	前納会費

支出の部	13年度決算額	14年度予算額	増 減	備 考
科目				
1 事務費	68,704	110,000	41,296	
消耗品費	28,464	30,000	1,536	コピー代、ラベル用紙、封筒等
写真プリント費	0	10,000	10,000	記録用
通信費	31,690	35,000	3,310	会報郵送費、切手、はがき
会議費	8,550	35,000	26,450	総会費、例会費
2 事業費	233,631	280,000	46,369	
印刷費	165,060	120,000	△ 45,060	会報印刷費(一部カラーページにする)
観察会費	0	10,000	10,000	保険料、資料等
パネル制作費	0	20,000	20,000	写真パネル等
他団体活動費	2,500	10,000	7,500	百年記念館友の会会費等
里山P費	66,071	120,000	53,929	保険料、資材費、チラシ印刷
3 調査費	0	130,000	130,000	
機器購入費	0	100,000	100,000	調査機器・編集ソフト購入
報告書作成費	0	10,000	10,000	印刷費等
調査費	0	20,000	20,000	調査関係費、資材費等
4 雑費	8,960	20,000	11,040	手数料等、
5 予備費	0	250,000	250,000	
6 広報活動費	0	50,000	50,000	リーフレット作成費
7 前払い費	0	5,000	5,000	
総 額	311,295	845,000	533,705	

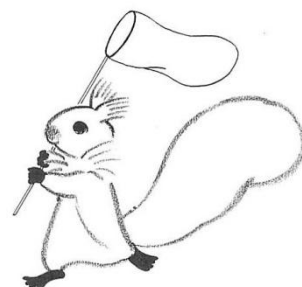
里山プロジェクト費収支予算書(里山P費内訳)	13年度決算額	14年度予算額	増 減	備 考
科目				
保険料	42,000	50,000	8,000	
資材購入費	16,322	30,000	13,678	土壌改良材、のこぎり替刃等
印刷費	0	15,000	15,000	チラシ印刷
会場借上費	0	5,000	5,000	新年会会場費
雑費	7,749	20,000	12,251	たき火、ロケットストーブWS等
合 計	66,071	120,000	53,929	

モニタリングサイト1000 2014年度収支予算書	13年度決算額	14年度予算額	増 減	備 考
収入の部	873,668	955,000	81,332	
支出の部	319,450	955,000	635,550	
次年度繰越金	554,218	0		

収入の部	13年度決算額	14年度予算額	増 減	備 考
科 目				
1 受託料	300,000	300,000	0	日本自然保護協会
2 受託料事務費	27,550	27,550	0	日本自然保護協会
3 繰越金	546,118	626,813	80,695	
4 雑収入	0	637	637	
総 額	873,668	955,000	81,332	

支出の部	13年度決算額	14年度予算額	増 減	備 考
科 目				
1 事務費	27,550	60,000	32,450	コピー代、写真プリント
2 委託料	115,000	120,000	5,000	各種調査入力委託
3 調査機器購入費	0	100,000		調査機器購入
4 雑費	76,900	150,000	73,100	全国大会・講習会・交流会等負担金
5 予備費	100,000	525,000		エゾリスの会会計へ振替等
総 額	319,450	955,000	635,550	

← 会員数、
増えるといいな♪



← 会報カラーページ、
またやります♪

← いろいろリーフレット
作るぞ～

← ロケットストーブ作って
遊びます。お楽しみに♪



← 調査の整理、
お疲れ様です♪

会費納入についてのお願い

2014年度の会費の納入を受付けておりますので、
よろしくお願いいたします。

当会は、皆様の貴重な会費で運営しておりますので、
なるべく早い機会に収めていただければ幸いです。
封筒のお名前の下に番号が納めていただいている年度
です。

例：13Aは2013年度個人会員、
13Bは2013年度家族会員、
13Cは2013年度賛助会員です

【会員規定】

1. 会費を納入することによりエゾリスの会会員
となる。
2. 会員となることにより、優先的に会の事業へ
の参加、備品の使用が行える。
3. 2年間会費を納入しなければ退会したものと
みなす。

【会費区分】

個人会員 (A) 500円
家族会員 (B) 1,000円
賛助会員 (C) 1,000円 (1口)
2口以上でお願いいたします。

【納入方法】

・十勝・帯広の方は、同封致しました振込み用紙により
帯広信用金庫本支店から振り込んでいただきますと手
数料が無料となりますのでご利用ください。
・郵便局からは、郵便振替でお願い致します (手数料は
ご負担願います)。

振替口座番号：02710-5-4616

振替口座名：エゾリスの会

2014年度の会費、
忘れずに払ってね！



裏エゾリスの会 No.13

Special Thanks・Ms.N & Mr.M



エゾリス・センサス(生息調査)の日...

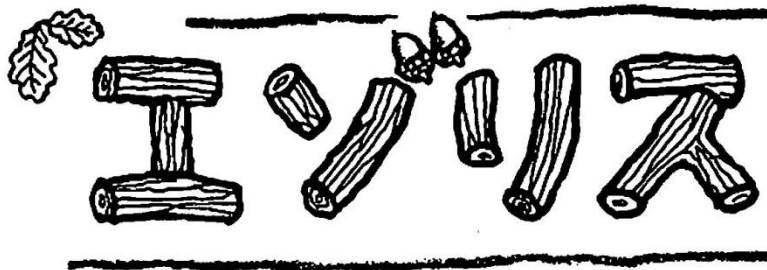


次回は10月18日(土)と26日(日)です♡ by 67期

エゾリスの会 会報 101 号 発行日: 2014.5.25
発行 エゾリスの会 (事務局)
〒080-0027 帯広市西 17 条南 3 丁目 6-14
☎0155-33-4223
E-mail mikka-1@octv.ne.jp
非公式ブログ <http://d.hatena.ne.jp/noken/>

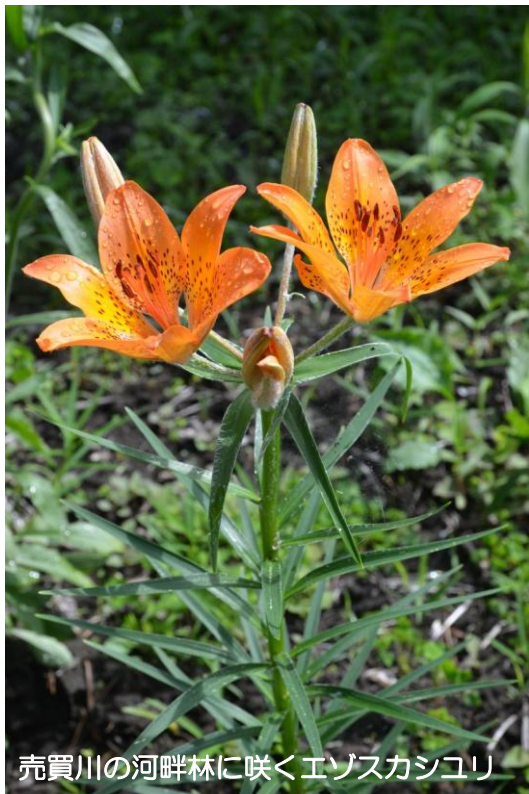
編集後記

緑濃く、鮮やかな季節。街の喧騒を離れ、森に足を踏み入れれば、野鳥たちのさえずりが私たちを迎えてくれます。総会も終わり、会も子育てに追われる野鳥たちに負けず忙しくなります。エゾリスの会にもヒナ(新会員)が生まれて欲しいと願う日々です。(さか)



エゾリスの会は、1986年に発足した環境系まちづくり団体で、野生小動物と人間とがより良く共存できる環境づくりを目指し、現在帯広の森で「里山づくり」、「動植物調査」、「観察会の実施」などの活動を行っています。

☆夏至の日を楽しみました。観察会の後に待っていたものは？



売買川の河畔林に咲くエゾスカシユリ



焼いて美味しいマシュマロ〜♪



指に止まった感触は？！

☆「エゾリスの会」は童心に帰れるところ。最初は怪しい会なのでは？と勘ぐった若者の話



子どものような笑顔→。

「大熊さんにやられた〜」→。

最初は怪しい会なのでは？と勘ぐった若者の話（会員インタビュー 大熊勲さん）

○そもそもエゾリスの会に入ったキッカって何ですか？

Twitter で野生生物に興味があるなら、とエゾリスの会の行事に誘われたことです。一番はじめの活動はモニ 1000 の鳥類調査だったと思います。

○エゾリスの会ってどんな会だと思いましたか？

最初は名前からしてメッチャ怪しい会だと思いました。個人的に動物の名前のつく団体にいいイメージを持っていなかったんで、その類かと。だから初めは警戒していたんですけど、そんなことは全然ありませんでした。



畜大には牧羊をやりたくて入ったが、今は野生動物の研究をしている

○入ってみて、良かったことってありましたか？

たくさんありますね。大学では知識的なものに偏りやすいのですが、ここは実際に見て、肌で感じて、経験しながら学べる機会が多いので。自分の中で自然との関わりは生き物を見るとかが中心になっていたのですが、里山活動のように自然を使って遊ぶという新たな楽しみを得ることができました。最近で言えばキノコのホダ木づくりとか、調査だけではない、遊びだけでないエゾリスの会が好きです。



噂では「ガンダム好き」「元軽音楽部」という別の顔を持っているらしい（後ろ姿1）

○これからやってみたいことってある？

イタドリですだれを作ってみたいんです。（計画的に草刈をしなくちゃダメだけど。私もやってみたい！←影の声）

○大熊さんにとってエゾリスの会とは？

童心に戻れる場所かな。昔から虫取り少年だったんですよ。今でこそ、たくさんの知識も増えて調査とかもしているけど、そういうのとは関係なく、自分の感性だけで生き物とかに向き合える。形だけとか生き様だけとかを見て、「スゲエ！」とか素直に言えて、さらにそれを他の人たちと共有できる。子どもの頃に皆で虫取りをしたような感覚かな。そこがすごく刺激的で楽しいんですよ。



先頭に立って歩く彼は正面からの写真が少ない。（後ろ姿2）

大熊さんは帯広畜産大学の大学院修士2年生。
研究の忙しい中でも、笑顔を絶やさず、会の活動を
支えている。

現在、エゾリスの会のホームページを大熊さんが
中心になって作成中です。（楽しみ♪楽しみ♪）



☆夏至の日を楽しみました。観察会の後に待っていたものは？

6月21日（日）の夏至の日。エゾリスの会主催の自然観察会、「売買川を歩こう！」を行いました。

夏らしい良いお天気の中、売買川の河畔林沿いを歩きました。

そして観察会の終了後は夏至の日に北欧で行われている夏至祭をエゾリスの会風に行い、楽しみました。

※夏至祭：北欧ヨーロッパでは夏至祭というものが開かれ、焚き火を焚き、花冠を作って踊ったり、ソーセージやジャガイモを食べたりするそうです。



たくさんの参加ありがとうございました！



身近な河畔林は意外と自然度が高くて楽しいです

エゾノスカシユリが咲いていたよ。
カワセミやヒガシカワトンボを見た人もいたらしい。
ドロノキの綿毛が飛ぶのが面白かった。



皆で草笛をしたのが楽しかったな～。
ロケットストーブを使わせてもらえてとても楽しかった。



ロケットストーブを囲んだエゾリスの会風夏至祭



外で食べるとより美味しく感じました

マッシュマロを焼いて食べるのは病みつきになるね。
ポップコーンにホットドッグ、簡単なものばかりだけど、美味しかった。
こうゆうのは何度やってもいい。今度は冬至祭をやりませんか？



※もしかしたら、次は冬至に何かやるかもしれません؟؟？

私のお気に入り No. 3

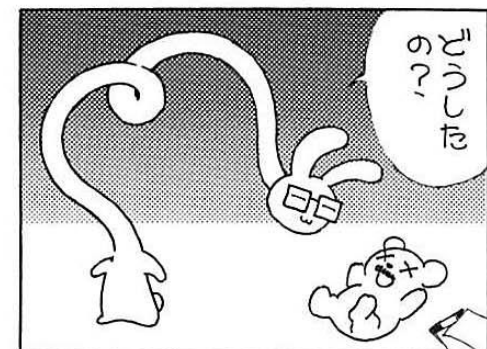
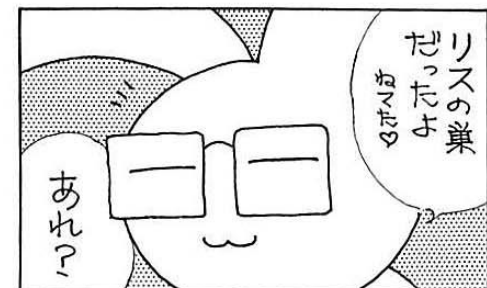
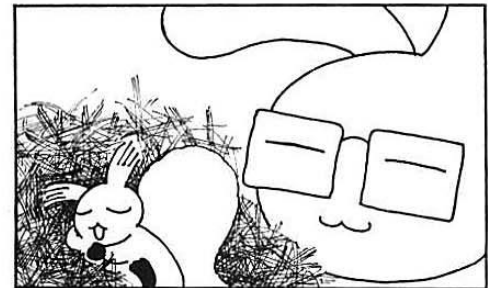
ウッドストーブ (wood stove)

坂村 堅二



私のお気に入りではこれまでロケットストーブ、ケリーケトルと紹介してきた。それぞれ森に落ちている小枝などを燃料にお湯を沸かしたりできるが何せモノがでかいというのがネックと言えはネック。もし、ザックに詰めて歩くなら、と紹介するのはウッドストーブだ。自分のウッドストーブは大きめの缶詰程度の大きさで持ち運びは楽である。燃料はゴミみたいな小さな小枝で十分だ。自分の分だけお湯を沸かせばいいなら、こんなにいいストーブはない。燃焼効率はロケットストーブに勝るとも劣らない。燃料は現地で拾えばいいのだが、裏技もある。実は街で売っている木質ペレットとの相性は抜群で、使い勝手がすこぶる良い。内側に満タンに詰めて燃やすと安定した火力で20分は燃え続けるのだ。途中で燃料を足さなくても燃えるので、楽チンだし、20分あればご飯とおかず、お茶すべてまかなえてしまう。構造はシンプルで自作でも作れそうなので、そのうち作ったらこのコーナーでも紹介したい。

裏エゾリスの会 No. 14



by 溶解ウォッチ 67号



エゾリスの会は楽しみながら、里山づくりを行ったり、動植物（エゾリスも）の調査をしています。詳しくは行事案内を見てね♪

エゾリスの会 会報 102号 発行日: 2014.8.25

発行 エゾリスの会（事務局）

〒080-0027 帯広市西 17条南 3丁目 6-14

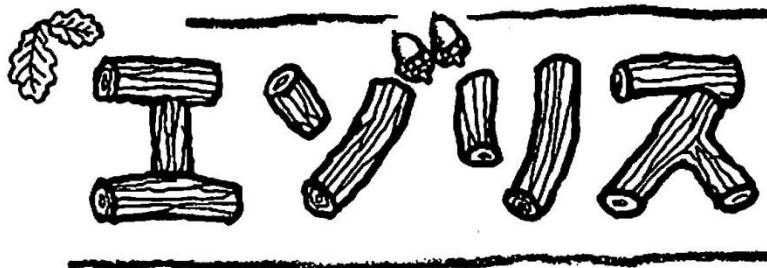
☎0155-33-4223

E-mail mikka-1@octv.ne.jp

非公式ブログ <http://d.hatena.ne.jp/noken/>

編集後記

今年も暑かった。家が暑い時、帯広の森の中に避暑に行くことがある。測ってないが、2度ぐらいは気温が低いと思っている。蝉時雨の森にいと、スズメバチ、ミヤマクワガタ、蚊などが寄ってくる。あらゆる虫たちは暑いほうが元気いい。自分も虫になりたい(さか)



エゾリスの会は、1986年に発足した環境系まちづくり団体で、野生小動物と人間とがより良く共存できる環境づくりを目指し、現在帯広の森で「里山づくり」、「動植物調査」、「観察会の実施」などの活動を行っています。

☆里山の秋に木質バイオマスの威力をみた。 ロケットストーブワークショップ報告



一斗缶で作ったのは？・・・焼き台です。



レンガを積み上げて～♪



ロケットストーブならこんな枝も燃料に！



ビートシロップ→。

羽釜で炊いたご飯→。

ストーブ職人→。

←ロケットストーブマニア

←餅とソーセージ

広尾の塩→。

☆ロケットストーブワークショップ 里山の秋に木質バイオマスの威力をみた。

11月16日(日)、エゾリスの会主催のロケットストーブワークショップを帯広の森、里山をつくろうプロジェクトのいつもの場所で行いました。

天気は晴れて穏やかで、十数名の参加者が集まりました。はじめにロケットストーブを実際に見てもらって構造について学び、続いて実際にロケットストーブを制作する班、ロケットストーブを使って調理などをする班に分けられました。

制作班はパール缶と煙突、断熱材のパーライトでロケットストーブを、オプションで一斗缶から焼き台もつくっていました。使うほどにロケットストーブは製作者のアイディアで変化していくもの。今後が楽しみです。

調理班は4台あるロケットストーブで塩、ビートシロップ、きのこ汁を作ります。さらにブロックとレンガ、簡易かまどで組み立てたロケットストーブを用いて、羽釜でご飯を炊きました。簡易かまどだけでもモチロンご飯は炊けますが、ロケットストーブ構造にすると、薪の量が半分以下で済みます。

作ったばかりの焼き台では、以前に森の間伐材でつくった炭を起こし、お餅やソーセージ、ステーキ(1枚だけ)を焼いて楽しみました。また昨年好評だった広尾の塩を作ろうと、海水を沸かして塩づくり、シメは十勝産のポップコーン。どれもこれも帯広の森、十勝由来の原材料の数々。十勝100%がいっぱいです。美味しくいただくことができました。

ロケットストーブはL字型に火の通り道を立てて、周りを断熱するだけという極めて簡単な構造ではあるけれどその奥は深く、作り手によって可能性は無限に広がります。ロケットストーブの燃料も剪定木の枝や廃材、ピスタチオの殻など、あらゆるものが活用できます。軽くて持ち運びもできますし、燃え残る灰も少ない。煙もあまり出ないため、住宅地で使っても近所迷惑にならないなど様々な利点を持ったストーブです。アウトドアのキッチンコンロに、災害時のときの非常用に、一家に1台ロケットストーブはいかがでしょうか?エゾリスの会では間伐で出た枝などを活用して、お茶を沸かしたり、今回のように調理に使ったりしています。

～参加者に感想を聞きました～



レンガとブロックのロケットストーブがカッコよかった。
終わってしまえばただのレンガとブロックに戻ってしまうの
が良かった。LEGO ブロックみたいで、



羽釜で炊いたご飯は
美味しかった。



塩が美味しかった。
知識としてはあったけど、
海水で塩を作ったのは初めて。

腹減った。
いただきまーす！

それフライング
じゃない？



ロケットストーブのあの
火力は驚異です。

塩も砂糖も優しい味だった。
羽釜で炊いたご飯も初めて。



↑ 広尾の塩でキュウリ

4 年ぶりに人為的インパクト調査を実施

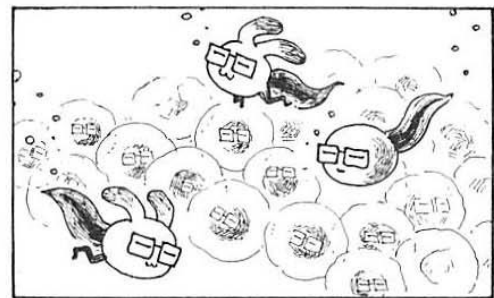
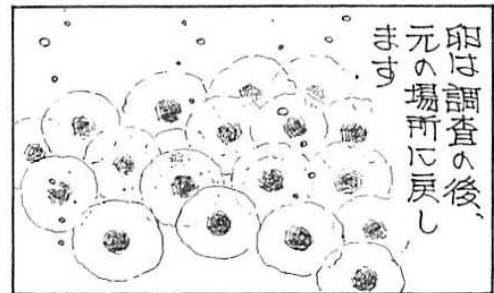
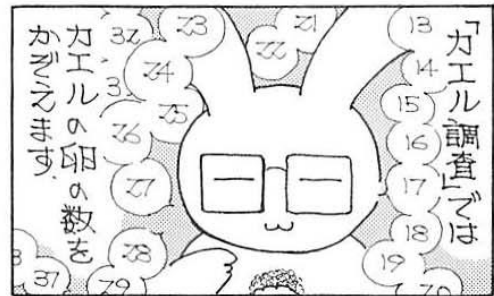
坂村 堅二



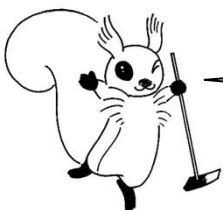
調査結果を地図に落とす作業をしています。

10 月 26 日、モニタリングサイト 1000 の人為的インパクト調査を行った。この調査は航空写真をもとに、森林、草地、畑地などの環境ごとに区分けを行い、現地を確認して大まかに植生などを記録し、5 年おきにモニタリングしながら、人為的インパクトの影響を把握する調査である。前回の調査からは航空法による森林の伐採や市民農園東側に築山がつくられるなどの人為的なインパクトがあった。調査では人の影響も見られる半面、植生が回復していたり、草地に灌木程度だった場所が森林らしくなっていたりと、ダイナミックな植物遷移を見ることが出来た。そういえば、オオジシギが飛び回り、ノビタキが我が物顔でさえずっていた場所も、すっかりアオジやセンダイムシクイの縄張りになってきたことを思い出す。帯広の森は都市の中にある以上、人為的なインパクトはこれからも避けられないが、植生の回復を促し、生物多様性の豊かな場所になっていくことを望みたい。5 年後の調査では自分も 50 歳を迎えるはず。今よりも豊かな人間性を身につけたいものだ。

裏 エゾリスの会 No.15



by オバニャン 67 号



エゾリスの会は冬も鳥類調査、新年会、間伐作業など、やることは盛りだくさん。寒いけど楽しいよ。詳しくは行事予定をみて参加してね。

エゾリスの会 会報 103 号 発行日: 2014.11.25
発行 エゾリスの会 (事務局)
〒080-0027 帯広市西 17 条南 3 丁目 6-14
☎0155-33-4223
E-mail mikka-1@octv.ne.jp
非公式ブログ <http://d.hatena.ne.jp/noken/>

編集後記

人間の自然環境に与えるインパクトは破滅的に大きい。人間が快適に生きるためだけに、こんなに改変する必要が果たしてあるのだろうか？元々、人間はもっと森や自然と共存して生きられる賢く、たくましい動物ではなかったか？考えさせられた日だった。(さか)